

## 渡りきる直前があぶない！

昨年1年間に、65歳以上の高齢者が道路を歩いて横断中に犠牲となった交通事故について、警察庁が分析した結果、左から来た車と衝突した例が、右からの車との例の約2.5倍であることが分かりました。

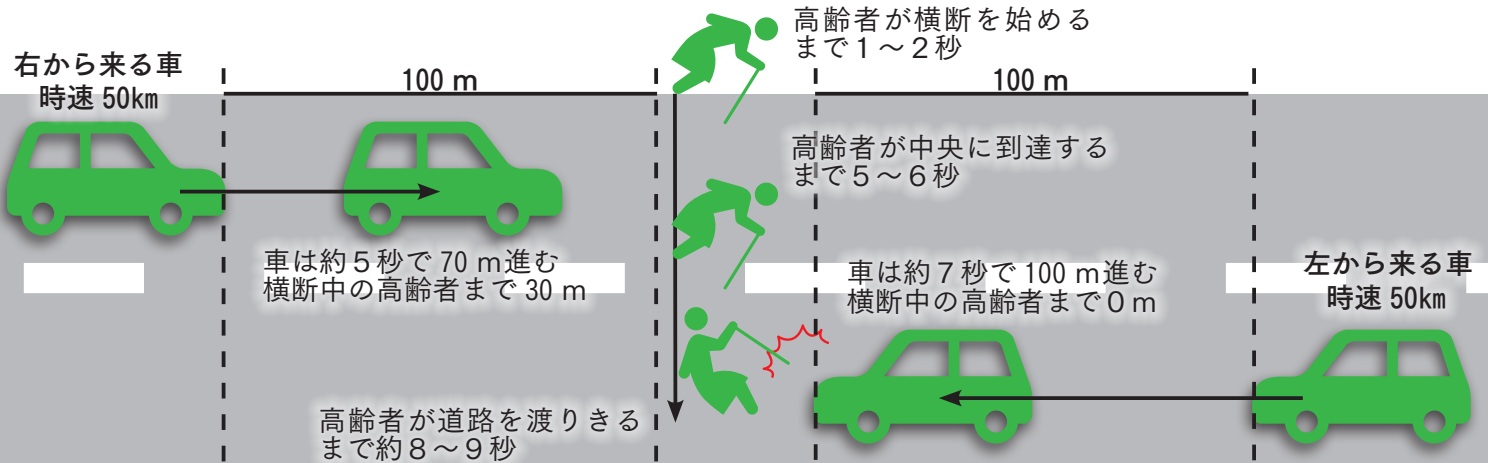


同じ100mでも、

高齢者が横断できると判断する車との距離は、左右ともに約100mであることが多いようです。しかし、高齢者が一般的な幅約8mの道路を渡りきるためには7秒以上掛かります。車との距離が100m離れていたとしても、横断し始めて7秒後には左から来る車と衝突してしまいます。

道路を横断する時は

- 車との距離を十分にとる（100mでは足りません）
  - 横断中も左右を確認する
  - 信号機や横断歩道など車の注意を引く場所を使用する
- などを心掛けましょう。



漫然運転の事故が増えています

運転中に他のことを考えた  
り、ぼんやりしたりと漫然運

状況に応じた  
安全速度で走りましょう

車の速度が速いと危険の発  
見が遅れます。安全速度で余  
裕のある運転を心掛けること  
で、危険を早めに察知するこ  
とができます。運転者から歩  
行者が見えていても、歩行者  
が車に気付いていないことも  
あります。もしもの時に備え  
てブレーキを構えるなどの行  
動をとることが大切です。

また、冬季は路面の凍結や  
雪の影響で車がスリップした  
り、制動距離が長くなったり  
します。積雪や路面が凍結し  
ている場合は、早めに減速し、  
特に右左折では最徐行をして  
ください。

脇見運転・飲酒運転  
絶対ダメ！

携帯電話、スマートフォン  
などを操作し運転する人がい  
ますが、運転中にそれらを使  
用することは交通違反になる  
だけではなく、危険を見落と  
す脇見運転につながります。

また、年末に向けてお酒を  
飲む機会が多くなりますが、  
飲酒運転は絶対にやってはい  
けません。「目的地がすぐそ  
こだから」「少量なら大丈夫」  
は理由になりません。飲酒運  
転は被害者の人生を奪う、と  
ても悪質な「犯罪」です。

交通ルールを守ることが  
事故を起こさない  
一番の秘訣です

(株)中野自動車学校 講師  
徳竹 亮 さん



## 夜間は原則ハイビーム こまめな切り替えを

危険をいち早く見つけるために、ハイビーム（上向きライト）を有効に活用し、ロービーム（下向きライト）との切り替えをこまめに行いましょう。

ハイビームの照射距離：約 100 m

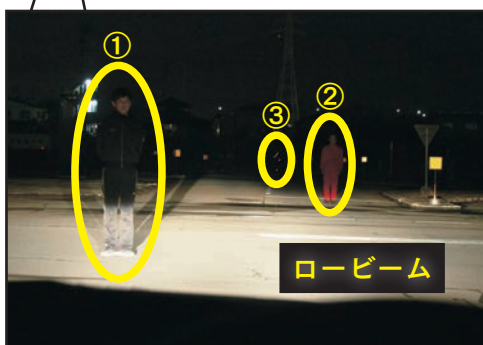
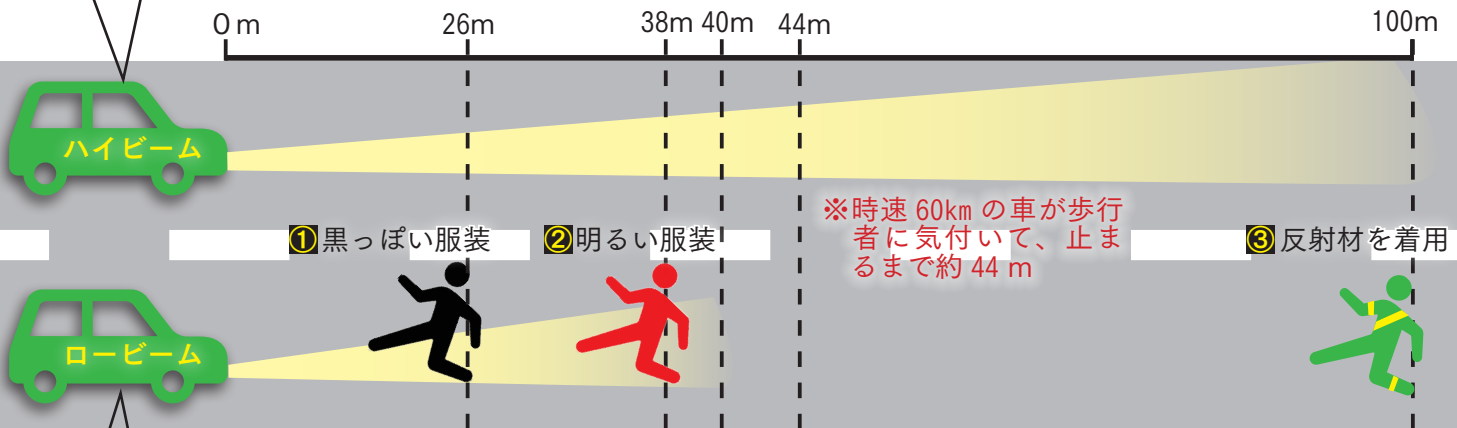
ロービームの照射距離：約 40 m



ハイビーム

自動車の速さ	自動車の停止距離
時速 40km	22m
時速 50km	32m
時速 60km	44m

**注意** 時速 60km 以上で走行した場合、ロービームで歩行者を確認してからブレーキを踏んでも間に合いません。



ロービーム

① 黒っぽい服装  
約 26 m で発見

ロービームで走行している車では、気付いた時点でブレーキを踏んでも間に合いません。

② 明るい服装  
約 38 m で発見

夜間では明るい服装でも車のライトが当たるまではドライバーに気付かれません。

③ 反射材を着用  
約 100 m で発見

反射材は、車のライトを遠くからでも拾い、ドライバーに歩行者の存在を気付かせてくれます。

夜間の外出は反射材を着用しましょう!!

反射材は角度によって見えなくなることがあります。いろいろな角度から見えるように 2、3 種類の反射材を着用しましょう。



動画で、夜の服装の違いによる見え方を確認しよう!!

下記QRコードからご覧ください。

